

茂原市学校再編に関する住民意見交換会 議事録

【五郷小学校】

- 日 時：令和3年5月9日（日）14：00～14：50
- 場 所：五郷小体育館
- 参加者：16名
 - ・ 審議会委員 2名
 - ・ 事務局 16名

教育長	内田 達也
教育部長	中村 一之
教育部次長（教育総務課長）	佐久間 尉介
学校教育課長	金澤 勤
学校教育課主幹	宮内 智之
教育総務課長補佐	小安 宏尚
教育総務課学校再編推進室長	大橋 康博
教育総務課学校再編推進室主査	石田 卓也
教育総務課総務係副主査	太田 智弘
教育総務課学校再編推進室主事	紺野 晃弘
教育総務課学校再編推進室	深山 秀樹
教育総務課学校再編推進室	狩野 久志
防災対策課長補佐	中村 敬紀
企画財政部次長（企画政策課長）	木島 成浩
都市建設部次長（土木建設課長）	白井 高
土木管理課長	本間 一裕

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 茂原市の学校再編について 事務局にて資料に基づいて説明
- 4 意見交換

（以下、意見交換）

- 住 民 通学手段、安全性の確保について具体的な策を伺いたい。
南中の周りの道路の整備はされるのか。具体的な安全対策や何か決まっていたら教えてほしい。
- 宮内主幹 通学の安全確保については、教育委員会及び市役所の道路を管轄している、土木管理課、土木建設課、及び県の土木課（長生土木）、警察等で、危険箇所
の安全点検を行っている。統合に伴い、危険と思われる箇所についても、市役
所で随時、場所を把握している。現段階では具体的な取り組みについて申し上
げられないが、各関係所管で話し合っている。
- 住 民 具体的な危険箇所はどこになるのか。どのような事故が多いかによって対策
が変わるのでは。

- 白井次長 サトペンから先がセンターラインもないような、狭い道路の区間となっている。その区間の道路改良を、統合となった場合に間に合うように調査を進めている。
- 住 民 具体的にどのような工事をするのか決まっていなないのか。
- 白井次長 地元の協力も今後必要となるが、歩道の整備を考えている。
- 住 民 歩道の整備をしてくれると非常に安心だ。中学校に入る道をもう一方増やしてもらいたい。反対側からも南中に上がっていける道を整備する考えはないか。
- 金澤課長 現状、子供たちの通学については、正門の方から通学をしている状況にある。裏の方にも通常使わない門があるが、その部分の整備については、距離的なものもあるが実際に明るさであるとか、安全が確保できるかどうかも含めて検討したい。
- 住 民 統合されるのであれば通学の安全面の確保が一番大事だと思っている。具体的に今後示していただくと安心である。統合される前に、必ず、安全策をとってもらいたい。
- 住 民 今の方の話はすごく大事であり、子供の命を守るということは非常に大事である。登下校で大事な命がなくならないようにして欲しい。自転車で通ると、カーブが幾つもある。そういうところも含め、通学路の検討を十分して欲しい。そうでないと、保護者の理解は得られないと考える。
- 住 民 保護者が一番懸念しているのが通学路の安全確保のことだ。自分の学区は危険箇所がわかるが、相手の学区がわかりづらい。統合ありきになってしまうが、五郷地区の皆さんが南中に向かわれるまでの間の、南中学校区内の危険箇所の確認が大事である。
- 住 民 子供が減っているので、統廃合はいいことだと思う。このままの計画が進む場合、中学3年生だけの1学年で最後は終わるのか、それとも西陵中、富士見中のように統合するまでの期間、入学するときに学校を選ぶことができるのか。
- 大橋室長 学校選択制は現在のところ検討していない。通常の統合という形である。二宮小や緑ヶ丘小のように、両校が一緒となる統合の方向を考えている。
- 住 民 早野中から、南中に全員移動するという理解で大丈夫か。
- 大橋室長 現在、そのように考えている。
- 住 民 令和8年4月1日までに統合というのは、令和8年の4月から、南中に統合するということか。
- 大橋室長 遅くとも令和8年4月1日に統合ということである。まだ、統合時期は決まったものではなく、学校再編審議会の案である。
- 住 民 延びる可能性が高いか。
- 大橋室長 もっと早くなる可能性も考えられる。

住 民 早野中がなくなるのかと非常に寂しい思いだ。今から40年程前に、南中の人数が多くて、早野中ができるということで、地域の子供たちの学び舎ができるのだから、みんなで協力しようということで、みんなが田んぼを提供して現在に至っている。先ほどの説明で、適正規模だとか小規模だとかが出ている。小規模だと、説明にあった音楽や美術の先生は、週に1~2時間の勤務とのことである。適正規模ということは大変大事だと思う。

茂原市内に、早野中学校と五郷小学校のように、小学校6年間と中学校が全く一緒というのは他にあるのか。

金澤課長 茂原市内で、一小一中という地区は、五郷小早野中だけである。

住 民 小規模だと、クラス替えもできない。中学では音楽とか美術が、1週間に何時間かの講師の先生で、放課後の相談もできない教育環境であると思う。もっと大事なことが、学校で競争しながら切磋琢磨して社会的な資質を養っていくことである。多様化しているこの時代を乗り越えていくには、人間関係やコミュニケーション能力を高めていくというのが非常に大事だと思う。早野中学校と五郷小学校は9年間全く同じである小規模学校で、教育環境も恵まれていないといってもよろしいのではないか。我々がイメージしている普通の学校のような教育が、いただけてないというのが現実だと思う。子供のために考えれば、統合を令和8年までにとか言わないで、極論で言えば来年の4月からでもやっていただいた方が、多くの子供たちが皆同じような教育が受けられる。

質問するが、早野中学校は音楽の合唱コンクールとかあるのか。

金澤課長 早野中学校でも歌を歌って、競い合い高め合うような行事は当然ある。また、美術と音楽については外部講師であるが、専門的な指導ができる講師をお願いしている。子供たちは休み時間等に講師の先生に話し掛けて、教えてもらうこともあると思う。

住 民 素晴らしい講師の先生を、配属していただいているかもしれないが、他の適正な学校と比べると、プラスアルファがないと思う。切磋琢磨していく、或いはお友達を作るということでは、やはり部活動も大事だと思う。学校の中を活性化したりね、お友達を作る。中学校の時のお友達って一生の財産になると思う。音楽だとか美術の先生方は時間講師ですから、部活動を持つようなこともないと思う。早野中に行った子供たちは柔剣道をやりたくてもできない。南中に行けばできる。

選択できるような環境のところで早くやらせたい。ただし、通学路だとかの安全性は十分確保しながら。

来年の4月から統合したとしても、南中学校の方には、早野中の子供たちが行って入る教室はあるのか質問する。

大橋室長 南中学校で受け入れることは可能である。

住 民 学校再編審議会の審議内容を聞いていて、子供たちのためにという話が出てくるが、メリット・デメリットの話の中では、教える立場の教師の立場からしか物事が見られていない。例えば、クラス編成ができない。不適當だという言葉

い方をされている。しかし、クラス編成をしなきゃいけないのか。しなくてもいくらかでもやる方法は一杯ある。小規模校は駄目だと言うが、新治小学校はすごく素晴らしい。全国的にも有名になった学校運営をやっている。学校再編が本当に子供たちのためになるのかどうかということを考えてもらいたい。

文科省も言っているが、地域の実情、地域との関係を重視しなさいと言っている。そのようなことも含めて、通学の安全性を重要視して検討してほしい。

金澤 課長 小規模校には小規模校のメリットがあり、一人一人に目が届きやすい面がある。逆に学級数が少ないことによって、子供たちに育てたい力が育たない部分等もある。クラス替えについてもクラス替えができる人数の方が、子供たちが切磋琢磨でき、新しい人間関係ができる。どちらかが駄目という訳でなく、子供たちの環境を考えた場合にはこちらが望ましく適正であるというような考え方で再編を考えている。

住 民 現在の状況をいかに改善するかという立場からすれば、小規模校は小規模の改善方策がある。クラス替えができない。交流がなくなるとか、多様な人たちとの付き合いがなくなるという言い方をするが、それならばそれをやるような校外学習や他校との交流とかいろんな方法をやればいい。教育する立場の人たちが、今の子供たちのことを考えて、地域を考えて、どうしたら、子供たちの教育効果を最大限高めるかという、努力をしていないからだと思う。

金澤 課長 子供たちの人数が少ない学校においても、先生方、いろいろなやり方で子供たちを指導し、子供たちを伸ばしていくように計画している。市の方針としては、適正規模を維持することが、子供たちにとって、良い環境であると考えている。